



通明小学校150周年記念事業

長野市立通明小学校
創立150周年記念式典

150から200周年へ ——

時をさきがけ、
未来をつかもう

~ The power to
change myself ~

通明小学校150周年記念事業実行委員会

令和5年11月10日(金)
於 長野県民文化会館(ホクト文化ホール)大ホール



～ 式 次 第 ～

program of the ceremony

司会進行：小関益子

〈敬称略〉

1. 開式のことば

2. 式 辞

同窓会長

渡邊 一正

3. あいさつ

通明小学校校長

早川 孝一

4. 来賓祝辞

長野市長

荻原 健司

北海道鹿追町立通明小学校校長

小林 亮

5. 150周年記念事業のあゆみ

150周年記念事業実行委員会実行委員長

久保田 盛雄

6. 感謝状の贈呈 (贈呈者) 同窓会副会長

株式会社バーンストーム・デザインラボ 代表

中嶋 君忠

株式会社JBN 代表取締役社長

宮尾 佳和

信毎書籍印刷株式会社 代表取締役社長

室賀 英二

株式会社アロズガーデンデザイン 代表取締役

矢島 哲郎
村田 勇

7. 記念演奏・記念合唱

150周年記念歌「行こう」 演奏：ウッドランドノーツカルテット

8. 記念動画上映 ～未来へのメッセージ～

9. 宣言 ～150年から未来への希望～ 児童代表 中村 里咲

10. 校歌斉唱

11. 閉式のことば

～150周年記念事業一覧～

150th Anniversary Commemorative Events

2022（令和4）年

- 1月 1日 通明小学校同窓会ホームページ公開
- 4月 30日 第1回思い出を語る会 開催
- 7月 1日 マンガ記念誌 キャラクター発表
- 7月 9日 第2回思い出を語る会 開催
- 8月 27日 第3回思い出を語る会 開催



2023（令和5）年

- 5月 1日 クラウドファンディング開始
- 5月 10日 150周年記念航空写真撮影
ジャングルジム贈呈式
- 5月 11日 ともどち劇場「通明かずちゃん人形劇」
- 6月 3日 150周年記念 大運動会・篠ノ井大獅子
競演・バルーンリリース
- 6月 17日 150周年の庭 花と緑の植栽イベント
- 7月 29日 篠ノ井合戦まつり「通明縁日」開催
- 8月 19日 150周年記念演奏会
「荒井雅至ヴァイオリンコンサート」
- 8月 31日 通明150版 ようこそ！先輩
トランペット奏者 若林万里子さん
プロバスケットボール選手 ミツ井利也さん
- 9月 30日 「通明テラス」オープニングセレモニー
- 10月 12日 マンガ記念誌 贈呈式
漫画制作者 宮尾佳和さん
- 11月 3日 130周年タイムカプセル開封式
- 11月 10日 150周年記念音楽会・式典・祝賀会 開催



通明小学校校歌

林 柳波 作詞
井上武士 作曲

- 一、
犀と千曲が ゆうゆうと
めぐり流れる 篠ノ井は
土地も豊かに 水清く
春はうららかな 日の光
ああ これうるわし
われらがふるさと
- 二、
ここに生まれて 朝なさな
心ほがらに 身をきたえ
雨に嵐に たじろがず
強く正しく のびてゆく
ああ これなつかし
われらが友どち
- 三、
北の信濃の 空はれて
秋は黄金の 波さわに
高き文化の 香るとこ
望みかがやく まなびやは
ああ これわれらが
通明小学校

行こう

Midori Noguchi 作詞
夏目昌典 作曲

ひこばえは 「この大きな桐の木の孫（まご）だよ」
教えてくれたのは 入学式で手をつないだ母だった
学校前の信号が青に変わって 一斉に走り出す 背中で聞く「気をつけて帰るんだよ」
先生の大きな声 遠くから聞く ふるさとのだれかの「おかえり」の声
時をさきがけ 未来をつかもう ふるさとから 行こう 未来へ
ひこばえが大きくなったとき 待っていてくれるだろうか 未来の足あとが 止まったり
動かなかったり 曲がっていてもほめてくれるだろうか
わたしの未来を笑顔で迎えてくれるだろうか
体育館の窓が金色（こがねいろ）に染まったのは 「ほら銀杏（いちよう）の葉だよ」
教えてくれたのは1年生の先生だった
動物園から見下ろすふるさとはピカピカでどこまでも輝いて
校舎の隣の機関車は私をいつでも笑顔にしてくれる
人もまちも ふるさとの全部があたたかい
時をさきがけ 未来をつかもう ふるさとから 行こう 未来へ
未来のわたしはきつと言うだろう ふるさとへ行こう
あのあたたかいふるさとへ行こう
ふるさとから行こう ふるさとへ行こう 行こう

Sponsors



秋山ピアノ調律所
(調律師 秋山桂一郎)

Violin 跡部 愛音 (Atobe Aine)



Woodland Notes Quartet

ウッドランド ノーツ カルテット

長野市出身。小諸高等学校音楽科を経て、国立音楽大学（特別給費奨学生）を卒業。
日本クラシック音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール他様々なコンクールにて受賞。2019年女神湖ミュージックキ
ャンプにて蓼科音楽祭賞を受賞。これまでに、ヴァイオリンを吉川朝子、村岡陽子、漆原啓子、三浦章宏の各氏に師事。

Violin 宮坂 裕子 (Miyasaka Yuuko, Violin)

千曲市出身。新潟大学教育学部特設音楽科卒業。ヴァイオリンを故・大関美千恵、故・白沢なほ子、中澤きみ子、伊藤浩
史、西田博の各氏に師事。現在、後進の指導にあたるかたわら、ソロ・室内楽・オーケストラ等の演奏活動を行う。
千曲市フィルハーモニー管弦楽団トレーナー。ensembleNOVAのメンバー。

Viola 上原 恭子 (Kyouko Uehara)

立科町出身。東京音楽大学、チェコ国立ヤナーチェク音楽院卒業。アジアユースオーケストラに2度参加。チェコ国立ブ
ルノ・フィルハーモニー管弦楽団などで演奏活動を行い、ブラハの春音楽祭にも出演した。2014年からバルカン室内管
弦楽団の日本ツアーウィーン公演にも出演する。またサウジアラビア・リヤドにてジャパンフェスティバルオーケストラ
の首席奏者として出演するなど国内外で活躍の場を広げている。小諸高校音楽科非常勤講師。佐久長聖中学校管弦楽部ト
レーナー。日本クラシック音楽コンクール審査員。

Cello 宮澤 等 (Hitoshi Miyazawa)

須坂市出身。国立音楽大学卒業。1992年オランダ・オルランドフェスティバルマスターコース合格。G.クルタークに師
事。1994年レンク国際音楽祭（スイス）においてファイナル・コンサート出演。2007年ニューヨーク公演、2008年、
2009年、2010年と中国北京大學で公演など、ソロ、室内楽奏者として活躍するかたわら、長野県内では長野市交響楽団
などの指揮者としても活躍する。現在、黒沼ユリ子ピアノ三重奏団、佐藤慶子弦楽四重奏団メンバー、白百合女子大学ア
ンサンブル・リスブラン常任指揮者、国立音楽大学付属高等学校講師。東京都立総合芸術高校講師。